

素形材 7-48 号
令和 7 年 6 月 6 日

関 係 各 位

一般財団法人素形材センター
会長 小 脇 一 朗

第 63 回素形材産業優良従業員表彰 受賞候補者推薦方ご依頼の件

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は当センターの事業に格別のご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当センターが、従来から実施して参りました素形材産業優良従業員表彰は、関係各方面の絶大なるご支援により回を重ねて参りましたが、本年度も素形材月間事業の一環として引き続き実施いたします。

本表彰制度は、素形材関係企業の従業員で、技術、技能または事務処理が優秀であって、省エネルギー、環境改善、品質・生産性向上などにより、素形材産業の発展に貢献された方、あるいは勤続年数20年以上素形材産業の業務に精励され、一般従業員の模範となっている方を対象に、表彰するものです。本表彰は、これらの方々の功績をたたえ、平素のご労苦に報いるとともに従業員の士気の高揚を図り、もって我が国素形材産業の発展に寄与することを目的としております。

受賞者の選考に際しましては、貴社代表者に候補者をご推薦いただき、当センターに設置する表彰委員会が審議のうえ決定いたします。また受賞者のうち、鋳物関係受賞者の中から久保田長太郎賞および西村茂賞の受賞者を各 1 名選考いたします。

つきましては、別紙 1 の本表彰規程ならびに記載要領をご参照の上、ご推薦下さいますようお願い申し上げます。また、表彰式は別紙 2 のとおり執り行います。

敬 具

記

1. 応募書類

推薦状、推薦調査書、履歴書

※応募書類は、素形材センター・ホームページの下記URLから入手いただけます。

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/136/>

(個人情報保護との関係)

表彰推薦状、表彰推薦調査書、および履歴書に記載された個人情報は受賞候補者の審査に使用されます。

また、表彰式当日に配布する受賞者芳名簿に氏名、会社名、工場名、および受賞理由が記載されるほか、素形材センターの事業報告書、月刊誌「素形材」12月号、ホームページに氏名、会社名等が掲載されます。

2. 応募方法

応募書類に必要事項をご記入のうえ、一式を下記のいずれかの方法で素形材センター事務局へご提出ください。

＜電子メールの場合＞

- ・応募書類（推薦状、推薦調査書、および履歴書）のフォーマットを素形材センター・ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/136/>

- ・必要事項をご記入（押印省略可）のうえ、ファイル形式はMS-Word、またはPDFにて、素形材センター事務局の電子メールアドレスへ添付ファイルとしてご送信ください。

＜郵送の場合＞

- ・電子メールが不都合な場合は、郵送でも承ります。
- ・同封の応募書類に必要事項をご記入（押印省略可）のうえ、素形材センター事務局へご郵送（宅配便も含む）ください。

3. 応募書類の締切期日

令和7年8月29日（金）

4. 表彰式

第31回素形材月間記念式典にて表彰式を行います。

開催日時：令和7年11月7日（金） 午後

開催場所：機械振興会館 大ホール

5. 応募書類送付先・お問合せ（事務局）

一般財団法人素形材センター 業務部（藤橋、田邊）

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館301号室

電話：03(3434)3907 FAX：03(3434)3698

E-mail：gyoumu@sokeizai.or.jp

推 薦 状

令和7年 月 日

一般財団法人素形材センター
会 長 殿

《推薦者》 会社名：
役職・氏名：
加盟されている素形材団体名
()

下記の者は推薦調査書記載のとおりでありますので、履歴書を添えて推薦致します。

推 薦 調 査 書

1. 被推薦者

ふりがな			
氏 名※			
生年月日	(西暦) 年 月 日生 (満 才)		
所属会社工場における職名と通算勤続年数	職名	通算勤続 年	
ふりがな			
所属会社※			工場名※
所 在 地			
勤務の業種 ※該当する主たる業 種つに○印を付け て下さい。	鋳造、ダイカスト、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金、鋳造機械、鍛圧機械、 金型、木型、工業炉、金属熱処理、バルブ、金属継手、作業工具、その他 ()		

※印は受賞の際、表彰状等へ記載される項目です。特に氏名は、旧字体等、正確にご記入ください。
満年齢は、応募締切日(8月29日)現在でご記入ください。

2. 推薦理由

素形材産業及び社業に貢献した具体的内容及び勤務状態を 120 字程度にま
とめてご記入下さい。(6 頁＜推薦理由記入例＞参照)

--	--	--	--

3. 連絡先

会社・工場名			
所 在 地	〒		TEL:
連 絡 者 名		所属	FAX:
		E-mail:	

履 歴 書

ふ り が な	
氏 名	
職 歴	
(西暦) 年 月	
賞 罰	
(西暦) 年 月	

素形材産業優良従業員表彰規程

昭和43年 6月 1日施行
昭和59年 7月13日改正
平成11年 9月 7日改正
平成14年 6月26日改正
平成24年 4月 1日改正
令和 6年 6月 5日改正

(目 的)

第1条 この規程は素形材に関する技術、技能または事務処理などの優秀、模範となる者の表彰を行い、もってわが国素形材産業界の振興を図ることを目的とする。

(表彰の対象者)

第2条 表彰の対象者は、素形材に関する企業の従業員で、当該企業から推薦のあったものとする。

(受賞者の基準)

第3条 受賞者は技術、技能、事務処理などが優秀と認められ他の範とするものであって、次に掲げる要件のうち一つを備えなければならない。

- (1) 素形材に関する発明、考案等により、その功績が顕著であること。
- (2) 省エネルギー、環境改善、品質・生産性向上などに寄与し、その功績が顕著であること。
- (3) 精励恪勤にして、他の範とするに足るものであって、素形材に関する会社（同一会社のみならず複数会社の場合でも可。）に通算して20年以上勤務していること。

(受賞者の制約)

第4条 受賞者は再び、本表彰の対象者となることは出来ない。

(受賞者の推薦)

第5条 受賞者を推薦しようとするときは、推薦状に別に定める調査書を添えて提出しなければならない。

(素形材産業優良従業員表彰委員会)

第6条 定款第44条第1項の規定により、素形材産業優良従業員表彰委員会（以下「表彰委員会」という。）を設置、運営する。

(受賞者の選考および決定)

第7条 受賞者は表彰委員会の選考に基づき、理事会において決定する。

(表 彰)

第8条 表彰は、会長が原則として毎年1回、表彰状ならびに記念品を授与して行う。

(表彰の取消)

第9条 受賞者であって、表彰の趣旨に反する行為をし、または表彰の体面汚す行為があったときは、会長は表彰委員会の意見を聞き、理事会にはかり表彰を取り消すことができる。

附 則

本改正規程は昭和59年7月13日より実施する。

附 則

この改正規程は、平成11年9月7日より実施する。

附 則

(表彰に必要な経費の負担)

- 1 受賞者を推薦した企業に経費の負担を求めることができる。
- 2 この改正規程は、平成14年6月26日より実施する。

附 則

この改正規程は、移行登記日から実施する。

附 則

この改正規程は、令和6年6月5日から実施する。

「素形材産業優良従業員表彰」推薦調査書の記載要領

- (1) 本調査書は、表彰委員会が、受賞者を選考する際の資料になりますので、遺漏なきようご記入下さい。
特に「氏名」は表彰状に記載しますので、旧字体等正確にハッキリ記入して下さい。
ふりがなは必ず付けて下さい。
- (2) 表彰の対象となる方は、素形材産業に関する技術、技能または事務に従事する技術者、技能者、事務者などの従業員ですので、役員は該当しません。
- (3) 表彰の対象とする素形材産業の従業員とは、鑄造、ダイカスト、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金並びにこれらと密接な関連を持つ鑄造機械、鍛圧機械、金型、木型、工業炉、金属熱処理、バルブ、金属継手、作業工具等に係わる産業に従事する従業員です。
- (4) 「推薦者」欄には、企業または事業所名、代表者名及び役職名をご記入ください。
- (5) 「加盟されている素形材団体名」欄には、ご推薦者(企業)が素形材団体に加盟されている場合には、主な団体名を記入して下さい。
- (6) 受賞者の推薦人数には特に制限がありませんので、該当者を多数ご推薦下さっても差し支えありません。

<推薦理由記入例>(120 字程度)

※特に、表彰規程第 3 条(1)或いは(2)の要件に該当される場合は、経験や業績等をできるだけ具体的に記入してください。

(表彰規程第 3 条(1)の要件を対象とした記入例)

原料粉末の粒度及び形状の最適条件と製造プロセスを確立し、多孔質セラミックスを開発した。特に、多段ロールプレス法等を用いてシート状に成形加工する技術を固めた。この新複合素形材は燃料電池の部品に適用され、今後の応用発展が期待される。

(表彰規程第 3 条(2)の要件を対象とした記入例)

入社以来一貫してエンジン鑄物用模型製作に取り組み、木型、樹脂型で卓越した技術と工法改善により生産性を大幅に改善させた。更にいち早く CAD/CAM 導入に取り組み、品質向上、短納期化など生産性を向上させた功績が顕著である。

(表彰規程第 3 条(3)の要件を対象とした記入例)

入社以来一貫して鑄鋼品の鑄仕上げに従事し、職場の核となり業務を遂行してきた。技術面での信頼は勿論温厚な人柄で職場の人望も厚く、豊富な業務経験を生かし後輩の指導育成にも尽力し他の模範となっている。

素形材月間記念式典 開催概要
(第63回素形材産業優良従業員表彰)

1. 主 催 一般財団法人素形材センター
2. 日 時 令和7年11月7日(金) 午後
3. 会 場 機械振興会館 大ホール (東京都港区芝公園3-5-8)
4. 式 次 第 (予定)
 - 素形材月間記念式典
 - (1)開 会
 - (2)挨拶
 - (3)来賓祝辞 (経済産業省および素形材業界代表)
 - (4)表 彰 式 (選考経過報告および表彰状授与)
 - ・素形材産業技術賞表彰 ・素形材産業経営賞表彰
 - ・素形材産業優良従業員表彰
 - (5)閉 会
 - 記念講演、もしくは技術賞／経営賞の受賞者講演
 - 記念撮影
 - 祝賀パーティ (機械振興会館 機械振興倶楽部)

ご負担金のお願い

本表彰の経費は、別紙表彰規程のとおり受賞者を推薦される会社にご負担をお願いしております。

つきましては、ご推薦をいただきました方の表彰が決定されました際は受賞者1名につき、次のとおりご負担いただきたく、よろしくお願い致します。

貴社にご負担いただく経費

受賞者1名につき 63,000 円 (消費税込み)

※ 素形材センター特別賛助会員・一般賛助会員は、50%割引

※ 表彰式に受賞者のご家族や会社関係者が同伴される場合も、ご負担金に変わりはありません。

【ご参考】最近5年間の表彰者数

年度 \ 賞	優良従業員表彰	久保田長太郎賞	西村 茂賞
令和2年度	28	1	1
令和3年度	36	1	1
令和4年度	35	1	1
令和5年度	35	1	1
令和6年度	42	1	1